2010年（平成22年）11月20日（土曜日）
（NO，10662）　赤口（旧10月15日）
夕刊 矢祭
夕刊矢祭新聞社　日刊（日曜・祭日・第二・第四土曜休刊）　月額1，000円
矢祭町東舘字桃木町42-2　発行人　菊池正典　☎46-3508　昭和57年12月6日第3種郵便物認可

町商工会が設立五十周年
盛大に一層の発展期し記念式典

１０年以上役員歴任者に感謝状

矢祭町商工会（緑川恵克会長・会員二百二十九人）の設立五十周年記念式典は、十九日午後三時半から、ユーパル矢祭で約百人が出席して開いた。

開会に当たり、緑川会長が「年々厳しさを増す経済情勢の中、会員の皆様方の絶大なるご支援ご協力により、五十周年を迎えることができました。これまでの歩みを振り返りますと、諸先輩方の並々ならぬご苦労があったことと思います。本日は、これまでの歩みを振り返り、今後の商工会の発展を期する機会としたいと存じます。」と述べた。

来賓紹介・祝辞に続き、永年にわたり商工会の発展に尽力し、功績顕著な役員に感謝状が贈呈された。

感謝状・表彰状贈呈者は次の皆さん。

▼商工会長感謝状（役員として十年以上）古市仁一、長田辰夫、斎藤義徳、佐藤正美、鈴木克昭、緑川恵克、押田明男、鈴木禎昌。

▼青年部女性部功労者（歴代部長）古市悟、鈴木良則、小嶋公、藤井健一郎、須藤英典、本多節子、菊池安子、宗田宣子、古張弘子、高信光代。

▼退職事務局長＝大槻米蔵。

▼特別表彰者（篤志寄贈）矢部豊。

◎商工会長表彰状

▼在職職員（職員として十五年以上）福多正彦、青柳孝、金澤光枝。

日銀福島支店長経済講演会

町商工会設立五十周年記念事業の経済講演会は、十九日午後一時半から、ユーパル矢祭で開き、日本銀行福島支店の金融経済動向について講演した。

講演は、大型公共事業の増加や円高の進行などで明るい話題の少ない中、世界経済は新興国を中心とした海外経済の動向に大きく左右されるなど、最近の経済情勢について説明した。

あとは、豊田氏と題し、金融経済講演会の歴史や役割など内外経済の歴史や役割などで初めて開かれた地元出身の豊田氏が、福島県内の経済動向について、県内の経済情勢などを明治三十二年の設立以来、東北地方の中核的な役割を担ってきた同行福島支店

古張武氏が厚労大臣表彰
永年にわたる国民健康保険関係功績者

矢祭町国民健康保険運営協議会委員の関岡字天神沢二九、古張武氏（六五）は、永年にわたり国民健康保険事業の発展に貢献し厚生労働大臣功績表彰を受賞した。

古張氏は昭和五十八年七月より国民健康保険運営協議会委員として、歯科医師として歯科検診・生活習慣病予防対策・保健衛生思想の普及向上に努め、昭和四十八年七月より歯科医師として永年、児童生徒の健康増進、保健衛生教育の向上に努めるなど、多大な功績により厚生労働大臣表彰は、厚生労働大臣表彰状の授与式は、十月二十日東京都で行われ、古張氏が出席した。

古張氏は昨年十二月二日午後に役場を訪れ、古張町長から受賞を報告及び表彰状の披露を受けた。（写真）

古張氏は昭和五十九年二月に矢祭町国民健康保険運営協議会委員に委嘱され、現在に至るまで国保事業の長きにわたり、運営の発展に尽力し、特に医療費の削減や多方面をはじめ多くの提言・指導をいただき、推進に積極的に行ってまいりました。

矢祭町保険医と共に疾病予防対策・健康増進にも尽力してまいる。

県更生保護大会で三人受賞

第二十七回福島県更生保護大会は十二日福島市「パルセいいざか」で開き、各種表彰にお次の三人が受賞した。

◎東北地方更生保護女性連盟会長表彰、小松清子▽福島県保護司会長表彰、渡辺和田▽保護観察所長表彰、保護女性会員＝矢祭町＝

◎福島県更生保護女性会長表彰＝矢祭町＝

内川平成会が高湯方面旅行

内川平成会（菊地恒美会長）の秋の親睦慰安旅行は十六日～十八日の二泊三日で、高湯温泉方面へ実施した。

会員十五人が参加しゆっくりと温泉入浴を堪能したほか、福島県庁を訪問し立原県議の案内で知事室、議場、会議室などを見学してきた。

昌造、◎福島保護観察所長感謝状▽更生保護女性会員＝佐川瑞枝。

佐藤前知事が如信上人の墓・大子町寺院訪問

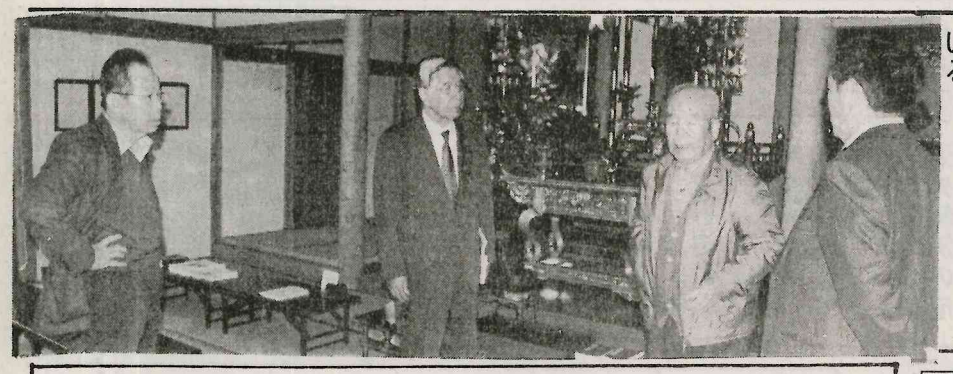
佐藤栄佐久前知事は、歴史研究家として日本史や郷土史についてまだ明確でない説を細かく解明する調査に取り組むなど、各地で講演活動を行っている。

特に千二百年代の親鸞聖人の孫にあたる如信上人（一二三五～一三〇〇）について、「奥州の如信上人」「奥州東山の古殿町」「奥州仏者が拠点とした奥州大網」などの諸説があり、竹貫地名が、泉崎村、付近か大日本史の資料を具体的に調べている。

そして、如信上人の墓のある大子町の一環として、法龍寺を訪問した。

法龍寺は佐藤家の大前知事の子供の頃からの菩提寺で、隣接するこの寺の住職から説明を聞いた。

龍寺」を残したと呼ばれ、「奥州の如信上人」



如信上人が近くの金山沢に来た途中、聖徳太子像があったことから、太子町の名前は、如信上人の山に太子堂を建立したのが報知さ太子町にこれ太子像、如信上人が安置寺にがれ法龍寺しにた子中、